



泉丘SSHだより

人間科学特集号



第6号 H15.12.1
編集: SSH推進室
発行所: 新村 健了

石川県立金沢泉丘高等学校

講演会

11月19日(水)に「人間科学」の授業の一環として金沢大学医学部の小川智教授をお招きして講演会「脳の働きのすばらしさ」が実施されました。小川教授の熱心な講演と講演後の質疑応答は生徒たちを魅了し、生徒達は様々なことを学ぶことができました。



講演を聞いて・・・

- 今回の講演で小川先生は、前半の三十分余りを人類と病気との闘争の歴史についての話をされ、その中にも化学分野、生物分野などの知識があふれていた。また、文系分野の立場から脳の研究をするということが進んでいるという話もされた。これから先、自分の進路を決定していくわけだが、何かを研究する時、一つしか道がないわけではなく、あらゆる方面から自分の考えを深めていくことができるように様々な進路があって良いと、この講演を聞いて思った。「脳の働きのすばらしさ」という演題の講演からこのような結論に達することができたのは、とても有意義なことであると思う。
- 脳の働きというのは、とても複雑で未開の部分が多いということが今回最も感じたことだった。一部がわかって故に新たな問題が浮上してくる、この感覚は嫌いじゃないかなと思う。また今回、医学・薬学が元々どういった方法、経路で発達したかということも少し知ることができたのではないかなあと思う
- 古い脳と新しい脳とのケンカがイライラやストレスに関係しているということを聞いてすごく驚きました。怒るということがそういう原因ならまだまだ発達していない心の方もいろいろ研究していけば戦争などもなくすことができるのかなと思いました。私は今日の講演で、脳についてたくさん学べたし、たくさん不思議なことができました。この不思議がいつかわかれば良いなと思いました。
- 一番心に残ったのは、言葉はあるトレーニングをしているとまったく別の技能を身につけていることがあるということです。脳は面白いとかすごい力を持っていると思いました。やればやるほど身に付くし、いろいろなことに興味を持ってチャレンジしてみるのは無駄ではないと思うから自分も難しそうなことに抵抗を持たずチャレンジしたいです。
- 先生の最初の言葉の中に、人体実験ができれば医療は飛躍的にのびるだろうというのがあった。やはり大学の最先端で活躍している人でもそう感じているのだとわかり、つい最近、人間科学の授業でした内容と直結していたのでクローン人間作成の是非は大切な論題だと感じた。



- 医療の発達には、戦争も関わっているという話もありました。戦争で傷つけられても、傷口からの感染によって死なないために、抗生物質が開発された、という話です。その抗生物質によって、今日までにとっても多くの命が救われています。人を殺す戦争によって人を生かす医学が進歩する、というのはすごい矛盾だと思います。一方で、それは必然であるとも思います。必要性があるからこそ、新しい発見が生み出されてくるのではないのでしょうか。人を救う必然性がある戦場で医学が発展してい

くのは当然だということもできると思います。人間は大量に生物を殺すことも、生かすこともできます。科学の力を良い方向に使っていかないといけないと思いました。

- 私たちは多くの知識を持っていないと人生がもったいないということ。新しい脳は、生まれたときこそ白紙であるが学習することができる。このことを知らない人間は、脳を生かすことができないのだと思う。
- 脳は言葉の意味を理解したり、反復したり、解析したりする、とても重要な器官である。それと同時に体のありとあらゆる器官も大切だと思った。片目をつぶると遠近感がとれないという例からも両眼視ができているからこそ、脳はしっかりと働くものだと言える。側面についていた目が前方にきたことによって、後方の視界が見れず、仲間と協力して前後を見張ることを覚えたを知り、なるほどと納得した。群れを作って行動することで社会性、言葉を獲得できたのだから、目が前方についたことは人間の文化、そして何より脳の発達に繋がっていると思った。何百年もの歴史の中で人間の脳は発達した。そしてこれからも発達していく。今は疑問でいっぱいだが、これから少しずつ勉強し、脳について知りたいと思う。
- 右脳と左脳がけんかしながら脳が発達していることも初めて知った。しかし私は人間の脳は知識の面だけでなく感情の面でも発達してきたと思う。これからの脳の解明で知識の面だけでなく感情がどのように発達してきたかを解明するのも面白いと思った。最後に疑問に感じたが先生は色を識別できるようになったのは突然変異と言われたが、なぜどのように変わったのだろう。
- 人間科学の講演だから、この間の延長でクローンだの遺伝子だの乗り物だのをまたやるのかと思っていたが（いやそれも面白そうだけど）、この空気の温まった感じは楽しかった。ただひとつの後悔は「マキロン！！」と思いきり言ってしまったが、金沢泉丘高校理数科（しかもSSH）としてせめて「オキシドール」ぐらいにしたほうが良かったのだろうか・・・（ちなみに先生の質問は消毒薬についてでした）

次回講演会日程

日 時	平成15年12月17日（水）	14:00～
演 題	「免疫の働きのすばらしさ」	
講 師	金沢大学 医学部 谷内江 昭宏 教授	
場 所	生物講義室	

公開授業



さる11月15日（土）に開催された「オープンスクール泉丘」において、人間科学の公開授業が行われました。当日は保護者や学校関係者が多数見守る中、「人間は遺伝子の乗り物なのか」についてのグループ討論が行われました。



あとがき

保健・家庭・生物・倫理の融合科目として作られた「人間科学」。人間の一生の営みの中で、日常生活と科学との関わりや心身の健全な発達を考察させ、生命の尊厳に対する認識を深めるとともに、人間の生命と科学のあり方について考える科目です。今回の講演会は「脳の働き」という観点からの学習となりました。次回は「免疫の働きのすばらしさ」どんな講義が聞けるのか楽しみです。